

生涯学習情報紙

2024

発行：大和村教育委員会事務局・中央公民館

第363号



大和っ子スクール収穫体験

2月18日（日）、「大和っ子スクール」を行いました。大和村役場（産業振興課）で管理・運営している「実証農園」で、シイタケの駒うち・タンカン収穫体験を行い、大和村内の小中学生12人、保護者5人が参加しました。

シイタケの駒うち体験では、役場職員や保護者と一緒に原木にドリルで穴をあけたり、種駒を木槌で打ち込んだりしました。

後半は、タンカンの収穫に挑戦しました。オレンジに色づいた、タンカンの果実を見つけては、「これは大きくて、おいしそう。」「いいにおいがする。」と嬉しそうに収穫していました。収穫後は、今が旬のとれたてのタンカンを農園で試食しました。「果汁がいっぱいおいしい。」と満足げな表情が見られました。



公民館長からのお知らせ

【令和6年度の公民館講座の申し込み開始！】

新年度の公民館講座の申し込み受付を3月18日～4月12日の期間で行います。詳しい内容につきましては、村中央公民館 57-2311 まで

奄美群島日本復帰70周年記念・写真

1951年から1952年にかけて、アメリカの人類学者ダグラス・G. ハーリングが、奄美大島で行った民族誌的調査の中で撮影した写真を、展示いたします。

展示期間：2月27日～3月7日

展示場所：大和村防災センター 1F ロビー



昭二兄の四方山話 (よもやまばなし)

希少植物

昨年暮れのことです。「区長さんですか」と我が家を訪ねてきた男性。名刺を見ると奄美自然保護パトロールの植物専門の先生でした。訪問の理由を尋ねると、津名久の海岸に希少植物が自生していることをご存じですかということでした。話を伺うとこの植物（イソフジ：マメ科）は国のレッドリストにも挙げられており、奄美の海岸でも少ないとのことでした。奄美諸島以南沖縄など南西諸島や台湾、熱帯アジアの海岸の浜辺に自生し2m～3mの低木で正式には環境省レッドリストで絶滅危惧1B類という貴重な植物でした。

集落で年に数回海岸作業をしています。よく今まで刈り取られずに無事であったものだ先生と安堵しました。10月頃には黄色い花が咲くと聞き、今から楽しみにしています。これからは、集落の海岸作業でも注意して、大和村の貴重な植物として見守っていこうと思います。

（注）絶滅危惧1B類

近い将来における野生での絶滅の危険が高いもの。



イソフジはマメ科クラウ属の常緑低木。
方言名：ハブユキギー、ハママミ、イカヌタマ
グ
写真（海洋博公園）